～６年生　被爆体験講和～

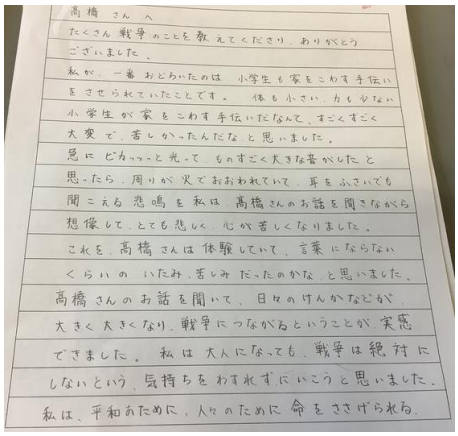
原爆被害者の会の方にお越しいただき、戦争についての話をしていただきました。

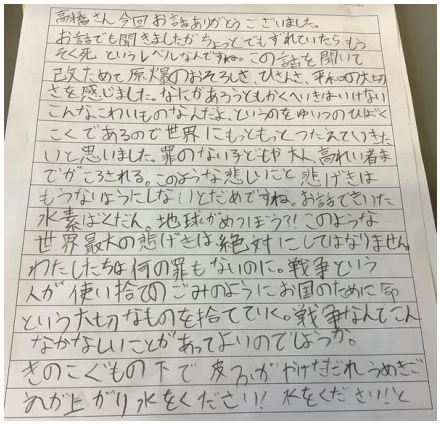
音楽の授業で「折り鶴」を歌ったり、学年の先生たちに「まっ黒なおべんとう」や「さがしています」などの絵本を読んでもらったりと戦争について知る機会はあったものの、詳しく戦争について学ぶのは今回が初めてでした。

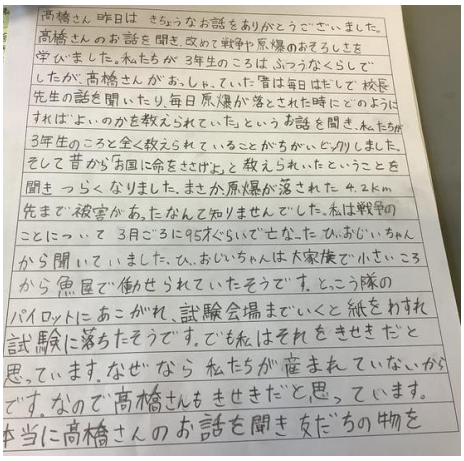
原爆が落とされた時の建物の様子やどこに避難したかなど沢山お話してくださいました。話の最後には、質問の時間が設けられ、「黒い雨にうたれるとどうなるのか。」「被爆するとどんな症状が現れるのか。」などいろんな質問がでました。

もうすぐで修学旅行です。原爆資料館の見学や碑巡りで今回聞いた話をいかして欲しいと思います。

次の日には、感想をプリントにまとめました。


高橋さんへ
たくさん戦争のことを教えてくださり、ありがとうございました。
私が、一番おどろいたのは、小学生も家をこわす手伝いをさせられていたことです。体も小さい、力も少ない小学生が家をこわす手伝いだなんて、すごくすごく大変で、苦しかったんだなと思いました。
急にピカッっと光って、ものすごく大きな音がしたと思ったら、周りが火でおおわれていて、耳をふさいでも聞こえる悲鳴を私は高橋さんのお話を聞きながら想像して、とても悲しく、心が苦しくなりました。
これを、高橋さんは体験していて、言葉にならないくらいのいたみ、苦しみだったのかな、と思いました。
高橋さんのお話を聞いて、日々のけんかなどが、大きく大きくなり、戦争につながるということが、実感できました。私は大人になっても、戦争は絶対にしないという、気持ちをわすれずにいこうと思いました。
私は、平和のために、人々のために命をささげられる。


高橋さん今回お話ありがとうございました。
お話でも聞きましたがちょってでもずれていたらもう
やく死というレベルなんですね。この話を聞いて
改めて原爆のおそろしさ、ひどさ、それの大切
さを感じました。なにがあろうともかくへいきはいけない
こんなこわいものなんたよ、というのをゆいつのひばく
こくであるので世界にもっともっとつたえていきた
いと思いました。罪のない子ども や大人、高れい者を
でがころされる。このような悲しいこと悲げきは
もうないようにしないとだめですね。お話できいた
水素ばくだん。地球がめつぼう?! このような
世界最大の悲げきは絶対にしてはなりません
わたしたちは何の罪もないのに。戦争という
人が使い捨ての ごみのようにお国のために命
という大切なものを捨てていく。戦争なんてこん
なかなしいことがあってよいのでしょうか。
きのこくもの下で皮ふがかけたどれうめきご
えが上がり水をください! 水をください!と


高橋さん昨日はきちょうなお話をありがとうございました。
高橋さんのお話を聞き、改めて戦争や原爆のおそろしさを
学びました。私たちが3年生のころはふつうなくらしで
したが、高橋さんがおっしゃっていた事は毎日はたらいて校長
先生の話を聞いたり、毎日原爆が落とされた時にどのように
すればよいのかを教えられていた。というお話を聞き、私たちが
3年生のころと全く教えられていることがちがいびっくりしました。
そして昔から「お国に命をささげよ」と教えられいたということを
聞きつらくなりました。まさか原爆が落された4.2km
先まで被害があったなんて知りませんでした。私は戦争の
ことについて3月ごろに95才ぐらいでなくなったひいおじいちゃん
から聞いていました。ひいおじいちゃんは大家族で小さいころ
から魚屋で働せられていたそうです。とっこう隊の
パイロットにあこがれ、試験会場までいくと紙をわすれ
試験に落ちたそうです。でも私はそれをきせきだと
思っています。なぜなら私たちが産まれていないから
です。なので高橋さんもきせきだと思っています。
本当に高橋さんのお話を聞き友だちの物を